

第3回津島市子ども・子育て会議議事録

日時

令和元年11月13日（水）午後2時00分から午後3時まで

場所

津島児童科学館 視聴覚室

出席者

高尾委員、伊藤委員、水谷委員、猪飼委員、山田委員、角田委員、柴原委員、星野委員、安藤委員、佐藤委員、田中委員、横山委員

以上12名

欠席者

塚本委員、谷川委員、浅井委員、岡本委員、南委員 以上 5名

事務局

水谷健康福祉部長、辻村健康福祉部次長兼子育て支援課長、富田指導保育士
木谷子育て支援GL、林児童保育GL、藤倉主査、田山主事
健康推進課母子保健G 河野保健師

1. 開会 事務局員

2. 議題

(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画について

(事務局説明)

(会長)

ただ今の説明について、委員の皆様からご意見、ご質問などありますでしょうか。

(委員)

資料2、ご説明していただきました自由意見、集計結果ですが、アンケートに書いていただいたご意見を踏まえて、今後何か具体的に、これを基に計画を何か変えていきたいとか、新たなものを検討したりとか、この意見を今後どのように扱っていくのか、というところを教えてくださいなと思います。お願いします。

(事務局)

こちらの自由意見は、主な意見として代表的な意見を2つ3つ、挙げているような現状でございます。

子ども・子育て支援事業計画自体の量の見込みとか、確保方策といった、数字の方になかなか反映しにくいところもあるのですが、具体的な例はなかなか申し上げにくいところもあります。例えば、昨日、都市計画の方でマスタープランの内部的な会議がありました。その場に出て行って、子育て支援課のほうとしましては、昨年のアンケートの結果で公園の数が欲しいとの意見がありましたということをご報告させていただきました。子育て支援課として、このアンケート結果を活かしてですね、市役所の内部でも様々な計画がございますので、その場で意見発表をしていきたいと考えております。

ただ、子ども・子育て支援事業計画の量の見込みとか、確保方策にですね、公園を作りますとかのご意見は、ちょっと計画の趣旨が変わってきますので、書きにくいところ

はあります。

この計画を作るたびに、5年に1回やるようなアンケート調査になりますので、アンケート結果を活かしながら、各計画に活かしていけたらと思っております。以上でございます。

(会長)

ありがとうございます。他の委員の皆様から質疑はありませんか。

(事務局)

事業計画の56ページにパトロール活動の推進という項目があるのですが、パトロールの実施を支援しますという文言がありますが、今はどういった支援をいただいているのか伺いたいです。

というのは、子ども達の登下校の時の見守る保護者というのは、基本ボランティアですが、いろいろな方に努力してお手伝いして頂いていて、保護者としてはすごくありがたいのですが、やっぱり親としては、子どもが学校から家に帰ってくるまで安全に帰ってきてほしいなという思いがありまして、なかなか親として働いているときに、3時の下校の時になかなか付き添うことができないという時に、地域の方のご協力を得ないと無理な状況なのですが、今はどういった支援をいただいているのかなと。

(事務局)

お子さんの見守りも含めて、いろいろな防犯活動があるかと思いますが、市民協働課という課がございまして、そちらで交通だったり、防犯だだりりの活動をする団体さんを支援しているという所がございます。

さっき言っていた見守り隊もございますけれども、防犯協会という協会が各コミュニティごとでありますので、そちらで、お子様の見守りも含めて、年末に夜警などのいろいろな活動がありますので、そのあたりを市役所でもサポートしていくという方向で計画に記載してございます。

(委員)

うちの小学校では、活動しようというときに、じゃあベストを用意しようとか、帽子を用意しよう、暑いときにやっぱり見守りに来ていただく方も大変だろうという、いろいろな気遣いがあるって、何か運営したい時に資金がない、さあどうしようということで、いろいろ努力をして、今やっってはやっているのですが、例えば何かする活動資金が、必要経費ぐらいは、もし用意されていたら、もっといろいろな方にボランティアとして参加していただけるような体制づくりは各学校でも、できるのかなということを思いました。

ぜひ何か、子どもが安心して過ごせる津島市になるということがここにも書いてあるので、そういったことも考えて頂けたらなと思います。よろしく申し上げます。

(事務局)

また、担当部署にも伝えておきますので、よろしくお願いたします。

(会長)

ありがとうございます。他の委員の方々でご質問やご意見はございますでしょうか。それぞれの立場から、幼稚園、保育、保護者の皆様、地域の皆様、それぞれの立場から、

ご意見、ご質問など頂ければ幸いです。

(委員)

資料の2ですが、医療費控除についてなんですが、何年子育て会議に参加しているかわからないのですが、かなり前から毎回医療費無償化ということはアンケートの中に必ず津島市の方って、書かれてきます。

個人的な意見になりますが、やっぱり予算としてかなり大きいです。無償化にするということは、とても大きくて、財政面でもマイナスですし、自分が親の立場から言っても、子どもが病気するのってすごく嫌じゃないですか。だったら、本来だったら無償化というよりはもうちょっと予防の方に力をいれるべきなんじゃないかというのは、何かの会議でも、ちょっと発言をさせていただいたのですが、やっぱりなかなかその考えが今のお母さんたちに、浸透していないのかなということ、またこういう意見がたくさんでてきたなというふうに感じています。

ですので、無料化を長くするというよりは、もうちょっと予防の方に力を入れていくので、無償化は小学生までだよという、やっぱり何かがないと皆さん納得はいかないと思うので、もう少し予防の方に力をいれていくという形を示した方が、いいじゃないかなというふうに考えます。以上です。

(会長)

ありがとうございます。今のご意見につきまして事務局のほうから、お願いします。

(事務局)

先ほども担当の方から話しましたがけれども、昨年度の時点でございまして、当市におきましては、本年4月から一応中学生までの無償化というので、こちらのほうを他市と同等な形に今なって取り組んでおります。

ただ、今言われたように、予防の方、そちらのほうはお子さんに限らずですね、医療費の増大化というのはずっと議題にされていますので、健診とか、予防接種、受診率とかの向上、そちらのほうは当然現在でも取り組んでいるところでございます。

(会長)

ありがとうございます。そのほか、皆さんご意見はありますでしょうか。

(委員)

コミュニティというのが、各校区ごとに作られています、そこでは地区社協という、社会福祉協議会の校区ごとの、地区社協という活動をやっています。

そこで見守り活動もやられているので、もう少しコミュニティの方に働き掛ける、そのようなことをされた方がいいと思います。この計画を進めていくにあたって、どうやって進めていくかということ、各コミュニティの方へ話を持っていけば、そこには地区社協がお金を持っています。社協の方から補助金が行きますから。そこでベストを買ったりだとか、できると思いますので、コミュニティの方に話を持っていただければ、コミュニティの方の日常の活動の中で、そのようなこともやられていくということが一番望ましいのではないかなと思います。

(会長)

ありがとうございます。

(事務局)

今いただいたご意見は、子育てだけじゃなくて、行政運営していく中で、コミュニティ、もっと言えば市民の皆様と一緒に、進めていかなければいけないことがいっぱいあるかと思えます。

そうじゃないとたぶん進んでいかない中で、私どもも、市民協働課があつてそこでやっていますよ。ただ、今みたいなお話を聞けば、もっと他に資源といますか、活用していくものも多々あるかと思えます。

私どももアンテナを高くしつつ、協力しながら、お願いできることはお願いして、私どもじゃないとできないことは私どもにというように、いろいろなことを進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

(会長)

ありがとうございます。

(委員)

さっきも予防ということで、ご意見を伺いましたが、今の小学校は先生たちが多忙化解消ということで、私たちが小学生の時は部活があつたと思えますが、最近の小学生は部活がないですね。例えば学童さんに行かれると、盛んに外遊びしようとか、何かの活動がありますが、その他の大勢のお子さんは学校から家に帰れば、家で習い事をさせている親御さんは送り迎えしているでしょうけど、そうじゃない子達はどうやって過ごしているのかなということを見ると、公園が少ないということを見ると、家で遊んでいるのかなということを考えます。

やっぱり体力が、外で遊べない、活動できる機会が少なくなってくると、子ども達が成長していくのにあつてそういう機会が減るということはどうなのかなということをおもいます。ここの自由意見の集計結果にも先生の補助をしてあげてほしいという意見も出ている中で、先ほどもコミュニティという言葉が出ましたが、地域の皆さんで協力して子どもを育てていくという機運がすごく大切かなと思えます。

保護者としては今までは何でも先生に頼りすぎていたかなということも考えないといけないと思えますが、個人的に思つていても、何もできなくて、何かしらそういう子ども達が何かいろんな活動ができるという体制づくりを早く整えてあげてほしいというのは一保護者としてすごく思えます。

(事務局)

その通りだと思います。この計画は基本的に保育園とか学童の確保など、数値的なものに主眼が置かれていますが、子育てとは何かって考えると、おそらくそこだけではないところが当然あるかと思えます。

さっきの医療費の話でも、医療費の無償化は他がやっているわけで、津島市だけやらないでは競争にも負けてしまつて困りますし、そういった状況の中でも、やっぱり主眼におくのは、先ほどもおっしゃられたみたいに、誰もが子どもさんが病気になってほしいと思つていませんし、健康で元気に外で遊んでというのが一番かと思えます。

そういった環境があまりないというのが、この公園が少ないという意見に反映しているかもしれないし、更に、今は昔と違って家の中で遊べるようなものがいっぱいありま

すので、そうではなくて、外で皆と触れ合って何かをするだとか、世代を超えて何かをするだとか、そういった機会を設けていくこと、そのきっかけづくりは、やっぱり自分たちが、地域と関わりながらやっていかなければならないこともあろうかと思えます。

この計画そのものにあがってくるものではないかもしれませんが、やはり先程もいいましたけれども、ここに上がってくる意見ですとか、しっかりいろいろなところで活かしていきたいと思っていますし、先ほど仰っていました学校の先生に頼りきりという話ですが、自分たちが学校に話を聞いたところでは、先生たちも結構大変で、今年からは夏の間とかも、短い期間でも先生たちに学校を閉めて休んでもらおうというようなことも考えるぐらいの状況です。

学校は日々時間に追われているような状況というのもお聞きしているところもありますので、そういった子育てというところを、学校、行政、地域など関係するところ皆で関係していく体制づくりというのは進めていかなければいけないと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(会長)

ありがとうございます。他に皆様ご意見ありませんでしょうか。それでは続きまして議題2に進めさせていただきます。事務局の皆様、ご説明お願いいたします。

(事務局説明)

(会長)

ありがとうございます。今の説明につきまして、委員の皆様からご質問やご意見がございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは進めさせていただきます。その他になりますが、事務局の方から何かございますでしょうか。

(事務局)

本日は貴重なご意見いただきまして、ありがとうございました。

今回の会議録につきましては前回と同様、後日郵送させていただきます。また、次回につきましては、来年2月頃を予定しております。またその際には開催通知及び資料の方を事前に送付いたしますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

(会長)

ありがとうございます。本日は貴重なご意見を頂きましてありがとうございました。これを持ちまして、第3回津島市子ども・子育て会議を終わらせていただきます。ありがとうございました。